

研究・調査報告書

報告書番号	担当
1 1 0	滋賀医科大学福祉保健医学講座
題名（原題／訳）	
Are smoking and other lifestyle factors associated with female urinary incontinence? The Norwegian EPICONT Study. 喫煙と他の生活習慣因子は女性の失禁と関連するか。ノルウェー-EPICONT 研究.	
執筆者	
Hannestad YS, Rortveit G, Daltveit AK, Hunskarr S.	
掲載誌（番号又は発行年月日）	
BJOG 2003;110:247-54.	
キーワード	
喫煙、生活習慣、失禁、アルコール、肥満	
要 旨	
<p>女性の尿失禁と関連する要因、すなわち、喫煙、肥満、身体活動、アルコール、カフェイン飲料等の改善可能な生活習慣について検討した。これは、1995-97年に実施された失禁に関するノルウェーのノルド・トロンデラッグ疫学研究である。20歳以上の34,755人が調査に参加し、質問票を受け取った。その内の80%（27,936人）が失禁に関する質問票に回答した。関連要因の分析は、失禁の程度、失禁の生じる状況を分類して実施された。その結果、喫煙は失禁と関連していたが、1日20本以上の現在の喫煙者、または、過去の喫煙者であった。強度の失禁は、喫煙量と関係なく喫煙と弱い関連を示した。肥満度の指標であるBMIの増加も、あらゆる程度の失禁と関連していた。弱い身体活動量と失禁は負の関連があった。お茶の飲むことは弱いが全ての失禁の区分と関連があった。強度の身体活動、飲酒とコーヒー飲用は失禁と関連がなかった。</p> <p>この結果、失禁と関連する改善可能な要因は、肥満、喫煙、お茶の飲用であった。これらの要因の改善は、失禁予防になると考えられる。</p>	